

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



スカウト み や ぎ

No.37

発行
日本ボーイスカウト宮城県連盟
発行日
平成26年11月30日



県北地区スカウト交流会



仙台地区 45 周年記念ラリー



石巻第2団キャンプ



WB研修所 C S 課程宮城第 19 期

平成28年度ボーイスカウト全国大会宮城県開催
平成28年5月28日～29日

地域交流活動事業

県北地区スカウトラリー開催

9月13日～14日、県北地区内のスカウトの交流を目的として、古川第1団、高清水第1団、迫第1団で、毎年実施している地区ラリーを開催しました。

今年は、登米市迫町長沼フートピア公園で開催しました。参加者は、ビーバー隊5名、カブ隊8名、ボーイ隊7名、ベンチャーアー隊3名、保護者12名、リーダー10名の計45名でした。

また、昨年交流してくれた神奈川県連盟横浜南央地区のボーイ隊、ベンチャーアー隊のスカウト、リーダー17名が今年も参加していただきました。

加えて、今回初めての試みとして、迫地区の団委員の協力もあり、登米市青年会議所に所属している児童のいる4家族の方々を招待して、一緒に活動しました。

初日は、班旗作成、ボーイスカウト活動体験、技能講習会、父兄さん主催のバーベキュー、キャンプファイヤーとスタンツでした。神奈川県連盟、登米市青年会議所の方々との交流は初日だけでしたが、楽しく過ごしていました。

2日目は、ロープを使用しての技能競技会、料理講習会としてはっと汁を作りました。1泊2日の短い時間でしたが、スカウト同士で仲良くなったり、神奈川県連盟、青年会議所の方々と交流したりと、盛りだくさんのラリーとなりました。



仙台地区45周年記念地区ラリー開催

宮城野区・榴岡公園を主会場として、9月23日(火・祝日)秋空の下、仙台地区創立45周年記念事業として開催。ボーイ部門は、西公園をスタート地点として、指定地図の中にある10ヵ所を回り、榴岡公園をゴールとするオリエンテーリング。カブ・ビーバー部門は、仙台駅大時計下集合後に榴岡公園まで歩道上の空き缶などのごみ拾いハイキングし、その後ゲーム大会。榴岡公園の会場には地区役員、ビーバー、カブ達が作ったモンキーブリッジが設置され、一般の子供達やVBS、CSが楽しいそうに渡っていた。全体セレモニーではBSのオリエンテーリングとテント設営の成績の結果、仙台第1団のハヤブサ班が優勝、地区委員長より賞状とトロフィーが授与された。



東部地区ビーバーランド2014



泉第1団 菊地 大喜

10月26日、4年振りのビーバーランドが松森市民センターを会場に開催されました。

カブラリーと合同形式となりましたが、史跡ハイキング・キムスゲーム・昼食・記念撮影・(指令書解説!)を行い、参加した18名のスカウトは元気に他隊と交流を図る事ができました。

好天に恵まれてのハイキングは最高ヽ(^o^)丿でした！

県北地区スカウト交流事業開催



県北地区では、スカウトの交流と啓発するため、地区内の古川第1団、高清水第1団、迫第1団で、毎年地区内交流事業を実施しています。

今年は、10月26日に大崎市古川『化女沼古代の里』で、実施しました。

参加者は、ビーバー隊5名、カブ隊8名、ボーイ7名、ベンチャー2名、父兄12名、リーダー8名の合計42名でした。

9月の地区ラリーの余韻もあり、地区内のスカウトは、皆仲間同士でした。

内容としましては、午前は、父兄、リーダーも含めて班編成をし、敷地内の遺跡巡りをしました。リーダー特製の山形風芋煮を食べ、午後からは、技能競技大会をしました。

化女沼古代の里は、芋煮会やバーベキュー、自転車のロードレース大会で賑わっており、スカウトが元気に活動する様子をPRすることができたと思います。



「一緒に秋を満喫！」

9月28日(日)秋晴れの中、石巻市牧山市民の森において石巻地区交流プログラム「お牧山へハイキング」が行われました。

石巻市湊地区の皆さんとスカウトの混成班を5班作り、班対抗の様々な活動をしました。

スカウトのしっかりした様子に、お褒めの言葉をいただきました。



東部地区カブラリー2014開催



10月26日、昨年に続きパインウッドダービーが松森市民センターを開催されました。

今年は昨年よりもパワーアップ??したデザインの車が多数集結し、スカウトの工作スキルが上がってきていることが実証された大会となりました。

来年も開催を予定していますので、カブ以外の皆様の参加もお待ちしています。



青葉区民まつりに参加

恒例の仙台市青葉区民まつりが11月3日、市役所前、市民広場、県庁前の勾当台公園等を会場に多くの団体が参加して開催されました。

少し肌寒い早朝に集合し、地区役員、指導者、VS達がモンキーブリッジ、関所破り、ロープ渡りを設置した。

また、例年2月中旬に体育館で行うBP祭（ボーイスカウト運動創始者：ベーデン・パウエル卿の誕生を祝う会）のPRをスカウトブースにて実施。8ヶ団より提出されたBPに関する事や団紹介、活動写真等が模造紙一面に記載されていました。

今年は近郊で多くのイベントが開かれた為、人出が分散化し、例年の3分の1ぐらいの来場で、子供達に大人気のモンキーブリッジも行列の光景は見られませんでした。



《一寸うれしいニュース》
3,4人の入団濃厚！

各団・隊の活動

《発団41周年を祝う》

石巻第2団 団委員長 菊池 康博



決意表明するスカウト

我が石巻第2団も、宮城県連盟・石巻地区の皆様の支えにより、本年で1973年の発団から41年を迎えることが出来ました。

諸般の事情から41年という半端な年数になりました。記録を整理するという意味もあり、「発団41周年記念式典」と「記念団キャンプ」を、7／19～21までの2泊3日で、市内旭山に有る、通称「コロボックル・ハウス」で行いました。

初日の記念式典では、県連からお出で戴いた千葉県コミッショナー、地区代表の千田地区協議会長からお祝辞を戴

き、30周年からの11年間団活動に物心で奉仕され、今は退任された7名の方々を、表彰させて戴きました。

最後に在団スカウト全員が、ひとりひとり「決意表明」をして、記念式典は終了しました。

昼食を挟んで、ボーイ隊以上はテントの設営、カブ・ビーバー隊はゲームを主体とした独自のプログラムを実施、その後全員で、營火会場までの誘導灯に使用する空き缶を利用した「キャンドル・ホルダー」のクラフトを行いました。

その後、今回の2泊キャンプの共通“目玉”プログラムである、クッキング・コンテストに挑戦する内容は、10数種類の材料から各班が一品ずつ選択して材料を“ゲット！”。

その材料を全部使用して「和・洋・中華・そして？」の料理を作る。リーダー、団委員全員の厳しい審査を経て、次の日の朝礼後、優秀班全員が団委員長特製の記念メダルを戴く。

2日目は雨天の為、旭山縦断のハイキング・3日目は滑落の危険があるので、館内に変更。

昼食は、団委員・保護者の協力で準備した「流しそ一めん」を、たらふく戴いた。

雨天の為会場が狭かったので、3ヶ班に分かれて挑戦。

あるカブスカウトの一言「ああ～！腹くっちはうごけねエ～！」

2日目の営火は小さな「火」を囲み、ひとりひとりがボイスカウトに対する想いや将来の夢を語る…最後に、どこからか突然現れたお遍路姿の怪しげな“怪僧”が、全員の回りを歩きまわりながら、“ちかい”と“おきて”を唱え、“喝つ！”と大声を発して消えて行った…？

最終日は、団内では有名な“雨男”の団委員と副長が所用で帰ったので、快晴！・万歳！テント類も乾燥・収納出来て、「終わりよければ総て良し！」の団キャンプであった。

最後に一言。途中2回消滅しかけた当団が、今日41周年を迎えたのも、県連盟と地区の皆様のお陰であり、その経過を知る者として、後進に語り伝えて行くことが、団を担当している者の務めだと思っております。感謝！感謝！と、皆様の弥栄を祈念致します。



"たらふく" 食べた" 流レソーメン" 2014.07.20

「同好会を行いました」

白石第1団では10月19日（日）秋晴れの中、南蔵王野営場にて団芋煮会を行いました。

紅葉が始まり、秋の深まる南蔵王野営場内をグループごと、地図を見ながらチェックポイントを回るハイキングで散策した後、美味しい芋煮を沢山食べました。山の中の食事で食欲増進、参加人数より多く準備された芋煮を完食、楽しい一日を過ごしました。



指導者研修会

平成26年度第2回スカウトセミナー開催

平成26年10月5日、登米市南方公民館にて「スカウトセミナー（ボーイスカウト講習会）」が開催されました。県北地区で開催されるのは、8年ぶりで迫第1回の保護者5名が参加しました。

参加者は講義の他ハイキングやゲームなど、楽しみながらボイスカウト運動の原理や基本的な方法について学びました。



ウッドバッジ研修所カブ課程宮城第19期開催

平成26年9月13～15日の2泊3日の日程で、「ウッドバッジ研修所カブ課程宮城第19期」が大崎市鹿島台学童農園で開催されました。参加者は県内の指導者の他、遠くは新潟と奈良からの参加者11名が集まり、スタッフも県内だけでなく、岩手連盟から3名のトレーニングチーム員が参加しました。

そして、参加者は隊長としての責務を果たせるよう『スカウト教育』と『隊運営』に関する基本的な方法を講義と体験を交えて学びました。今回この研修で、参加者が学んださまざまなことがこれからのスカウトの指導やプログラムに活かされることを期待しています。



平成26年度第1回安全セミナー開催

宮城県連事務所を会場に11月2日、平成26年度第1回安全セミナーが開催され、県内外の指導者12名が参加した。安全セミナーは、新課程のウッドバッジ研修所・団委員研修所を履修した隊指導者、団委員を対象に行うもので、参加者がスカウト活動における安全の確保や危機管理を有効に行なうことが出来るよう研修することが目的としている。

今年度からは、「そなえよつねに共済」と「賠償責任保険」の内容を学ぶ時間が追加された。

6時間にも亘る5つのセッションに、当日参加者は、熱心に取り組んでいた。

「信仰奨励章・世界スカウト環境バッジの取得」および 「上進時期の説明」指導者研修会開催

平成26年11月16日、仙台市広瀬市民センターにて「信仰奨励章・世界スカウト環境バッジの取得」および「上進時期の説明」指導者研修会が開催され、県内22名の指導者が参加しました。この研修会は、県内で信仰奨励章を取得したスカウトが平成19年度制定より1名しか誕生していないため、3年前から県連主催で行なわれています。

今年は、『世界スカウト環境バッジの取得』と『上進時期の説明』も合わせて行われました。研修会冒頭に千葉県連盟コミッショナーより「なぜ信仰奨励がスカウティングに必要なのか」の講話を頂き、それから概要と進め方の説明、実施計画書の作成と研修は進んで行きました。3時間の研修の中で印象に残ったのが、スカウティングの三位一体は『原理』『モットー』『スローガン』という言葉でした。近頃原理については重要視されていますが、スカウティングにはモットー『そなえよつねに』、スローガン『日々の善行』の実践がとても大切であることを改めて教えられました。



オーストラリア短期留学派遣を終えて

石巻第2団ベンチャーチーム 秋山 佳織

今回の派遣に参加して私はたくさんのことを行なうことができました。

スカウト活動では、スカウトハウスがあり活動は毎週あり、また制服などで日本との違いに驚きの連続でした。しかしスカウトも指導者の方も私が来ることを楽しみにしていてくれて、とても温かく受け入れてくださいました。また団のチーフやワッペンなど、たくさんのプレゼントもいただきました。

学校では、主にホストシスターと同じ授業を受けました。みんな気軽に話しかけてくれたり、日本語を覚えたりなど積極的にコミュニケーションをとろうとしてくれて、とても嬉しかったです。

私のホストファミリーや学校の友達、先生方は本当にみんな親切で、私が充実した3週間を過ごせるように尽力してくださいました。

私はこの派遣に参加するにあたって多くの人に支えてもらいました。日本連盟やオーストラリア連盟を始め、私に関わったすべての人々に感謝しています。この23日間は私にとって一生忘れられない最高の時間となりました。私を派遣してくださり、本当にありがとうございました。



沢端川「鯉の移動」



白石市内を中心部を流れる沢端川は、街中で鯉の泳ぐ清流として知られています。その沢端川も実は元々白石城の外堀として作られ、市内に張り巡らされた水路の一つです。春と秋の年二回水路の整備・清掃のため「川干（かわひ）」として水の流れが止まり、放流されている鯉を川の中に作られたいけすに移動させなければなりません。

白石第一団では白石市からの要請もあり、20年ほど前からこの作業に参加しています。今年の秋は9月27日(土)に行われ、水の少なくなった川から約150匹の鯉を引き上げ、いけすまで移動しました。

市内の景観保護活動及び自分たちの住む街の歴史を知るきっかけとしてこの活動を続けていきます。

木幡 明君（カブ隊くまスカウト：小5）チャレンジ章完修

泉第1団カブ隊

東日本大震災の後、石巻のカブスカウトが『チャレンジ章完修』となった記事を読み、僕も完修しよう！と思いました。隊長は、「カブブックをやってね！」が口癖です。僕は集会の度にブックを出してサインを貰いタスキにバッジが増えるとニヤッと嬉しくなりましたが、最後の一冊、工作博士の“人が乗れる乗り物”的アイデアが浮かばなく祖父の家にあった台車を作ることにし、デンリーのプロ用工具で木を切り、穴を開け弟と協力して完成しました。チャレンジ章完修した自信とチャレンジ精神でこれからもボーイスカウト活動を続けたいと思います。



「北海道東北ブロックベンチャーの集い」が開催されました。

10月11日～13日、福島県猪苗代湖畔にて「北海道東北ブロックベンチャーの集い」が開催され、宮城県からはベンチャースカウト2名が参加しました。他に集ったのは青森・山形・岩手のベンチャースカウト総勢7名で、少ない人数ながら同じ高校生、あつという間に打ち解け、ボーイスカウト日本連盟の前身である少年團の第1回野営地の碑が建つ天神浜での野営を楽しみました。

テントのポールが折れるアクシデントや食堂フライも、福島県連スタッフ直伝の手作りポール・ペグを使ったサバイバル技術で克服し、正に無から有を生み出すキャンプを体感しました。

「身近なものを利用し災害時に役立つ100のアイデア用品作成」という課題に全員で挑戦し、ペットボトルを利用した椅子や針金ハンガーを利用したキャンドルスタンドなどの様々なアイデアが発表されました。毎夜行われた栄火を囲んでのディスカッションも含め、ベンチャースカウト達には得難い経験となったようです。



『スカウト活動を通して得たもの』

仙台第1団ボーイ隊 酒井 馨（菊スカウト章：No.849）

僕は今までの4年間スカウト活動を通して、自分の成長した所、自分の今後の課題が見つかりました。

自分の成長した所は2つあり、1つ目は忍耐力だと思います。初めての30キロオーバーナイトハイクで、途中でくじけそうになつた事があったけど「諦めずにやり通す」ことで、ゴールに辿り着くことが出来ました。

又、キャンプの活動で、下の学年の時は、やる事がきつくても、やはり最後まで諦めない事を胸にひめ、乗り越えて来ました。それらを通しての自分の忍耐力が養われたんじゃなんかと思います。

2つ目は、自分の性格が大きく変わつた事です。元々自分は引っ込み思案で消極的な性格だったので、進んで人前で発表したり積極的に行動するといった事がなかなか出来ませんでした。でも、ボーイスカウトではその機会がたくさんあって、その度に自分も人前で発表するようになっていました。それは学校でも表れていて、合唱コンクールで自分のクラスの発表前に、大勢の人の前でスピーチする事が出来ました。

僕はこの時、ボーイスカウトのお陰で成長出来たんだなと感じました。

次に自分の今後の課題についてです。僕はベンチャーチームに上進するつもりなのですが、ベンチャーチームの活動は、上班や隊付になって、ボーイスカウトに様々なことを教える事になります。課題というのは、自分でも恥をかかぬよう、自分で技能を磨き、後輩達に教えていくようなスカウトになる事です。

僕は今までのスカウト活動の中で、たくさんの事を学び、そして得る事が出来ました。これから学んだ事、得たものは、将来社会生活で絶対役に立つと思っています。

そして、その学んだ事、得たものを励みに、これからも頑張って行きたいと思います。



「ようこそ」クラフト村へ

10月11日・12日鹿島台学童農園において、石巻第6団カブ隊では秋キャンプを行なつた。

秋晴れの中、秋ならではのクラフト…。ゲームで獲得した食材で夕食作り。夏のキャンプもいいけれど、秋もいいよね。



～みんなの声を聞かせて②～

今回は、「あなたが伝えたいボーイスカウトの魅力」についてスカウト・隊指導者・保護者の方々に聞いてみました。

家族ではどうしても自然の中で遊ばせることに限界があるので、ボーイスカウトの中でいろいろな経験をさせてあげられます。
(名取第1団CS保護者 匿名希望)

キャンプや隊集会、ハイキングを通して自分のスキルアップやコミュニケーション能力の向上、マナーや感謝の心が持てるところ。
(仙台第28団 RSスカウト)

スカウト活動を子どもに勧めたのは、学校では学べない様々な経験が出来るのではと考えたからです。現にキャンプやハイキング活動では自然に触れ、緑の募金では奉仕活動を経験、料理の実践や同学年だけではない年上、年下のスカウトと関わることで、段々と自立に目覚め、たくましく感じるようになってきました。また、親の私も参加したり見守っていることで、自分自身も共に成長していると感じています。
(泉第2団保護者 だけどママ)

高校に入って県内から集まった仲間にまた、社会人となって出会った仲間にスカウト経験者が多く、スカウト活動の思い出話が楽しい。体験した者のみが味わえる楽しみの1つでもある。

(石巻第6団CS副長 山内将之)

- ①キャンプなどを通じてスカウト仲間と深い繋がりができるところ
- ②小さい頃からスカウト以外にリーダー達、スカウトの保護者など大人との繋がりも出来るところ。対人関係について良い経験が出来る。

(仙台第1団CS保護者 中村公久)

様々な体験、様々な人との関わりを通して“今”を楽しみ、将来活動を振り返った時に“あの時の体験”が今に繋がっていると気づかされる。

(泉第2団CS隊長 田端恭子)



県連盟ホームページのご案内

昨年7月より、ボーイスカウト宮城県連盟のホームページを公開しました。スカウト活動の様子や、各種講習・イベント等の案内、事務局からの情報等を掲載していますので、是非ご覧下さい。

ホームページのフォームからご意見・ご感想・お問い合わせもお受けしております。

ホームページURLは <http://www.scout-miyagi.jp/> です。

<編集後記>

今回の「スカウトみやぎ37号」は、本来なら10月下旬発行の予定でしたが、各地区的行事や活動が10月と11月に集中していると聞き、発行を1か月遅らせました。記事を寄せて頂きました皆様に改めて感謝申し上げます。(鈴木)

■発行:日本ボーイスカウト宮城県連盟

■編集:宮城県連盟組織拡張広報委員会

委員長 鈴木 美恵子
委員 白根沢 健 小野寺 康 松本 康男
榛澤 達夫 小野寺 純 大沼 茂雄

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

宮城県多賀城分庁舎内

TEL 022-355-6265/FAX 022-355-6267

ホームページURL <http://www.scout-miyagi.jp/>